

食品、工業、化粧品工場のボトル充填ラインをご提案 協和のサーボ充填機 シリーズ



- 特徴
液体、粉体物の充填加工工程で「卓上型サーボ充填機」をはじめとして、様々な自動充填装置ラインのニーズにお応えしています。
- 適用品
ドレッシング、シヤム、ミネラルウォーター、マヨネーズ、醤油、おろしわさび、コーティング剤、ホットメルト、シャンプー、クリーム、等々
- 製品
PETボトル、ガラス瓶、プラボトル、電装チューブ
- 能力
半自動タイプから毎分100本充填のラインまで、種類あります。



協和自動機 本社：工場 224-0037 神奈川県横浜市青葉区3-3 <http://www.kyowa-ikumi.co.jp/>
TEL.045-301-2104 FAX.045-354-8519

DMG MORI SEKI
Quality and Innovation



次世代コンパクトマシンニングセンター
MILLTAP 700

抜群のミーリング能力を発揮
— 高い機械剛性と主軸能力

MILLTAP 700は、機械幅わずか1,650 mmのコンパクトボディに、700/420/380 mm (X/Y/Z) というワイドな加工エリアを実現した次世代コンパクトマシンニングセンターです。
平均速度は主軸でクラス最高の60 m/minを達成。さらに当社従来機比2倍以上の25 kWを達成した主軸最大出力と高剛性構造により、抜群のミーリング能力を発揮しています。

株式会社 森精機製作所
〒246-0037 神奈川県横浜市青葉区3-3 <http://www.moriseiki.co.jp/>
TEL.045-301-2104 FAX.045-354-8519

株式会社 森精機セールスアンドサービス
〒246-0037 神奈川県横浜市青葉区3-3 <http://www.moriseiki.co.jp/>
TEL.045-301-2104 FAX.045-354-8519

2012年度「機械遺産」5件が決まる

日本機械学会は、日本国内に現存する歴史的に意義のある「機械遺産」5件を選定し、8月7日の「機械の日」に認定する。機械遺産の認定は、2007年に同会創立110周年を記念して発足した事業で、これまで50件を認定し、今年で6回目。

【神奈川県横浜市】
ステンレス鋼製車両群
(東急5200系と7000系)



東急5200系は無塗装化によるメンテナンスフリー化を目指し、1958年に日本で初めて外板にステンレス鋼を採用した車両で、保存車両のデハ5201号車は、その第1号車両であり、ステンレス車両導入の試験的な役割を果たした。東急7000系は東急車輛製造(現総合車両製作所)が米国から製造技術を導入しながらも、独自技術を加えて製造した日本最初のステンレス車両である。これらの車両は現在の通勤用車両として普及した国産ステンレス車両の原型である。

【奈良県吉野郡吉野町】
吉野山ロープウェイ



吉野山ロープウェイは、1929年に「千本口」駅と「吉野山」駅間の全長349m、高低差103mに運行開始した、わが国現役最古の旅客運送用ロープウェイである。しかも、架設当初の形態を現在もよく保つものとして世界最古級である。戦後主流となるロック・コイル・ロープと呼ばれる表面を平滑化したロープの使用、架設当時の形態を保つ駅舎や支柱など、初期の構造がよく保全されている。世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の出発点に位置する交通機関として今日もなお、多くの観光客に利用されている。

【東京都台東区】
池貝工場製第1号旋盤
(現存最古の動力旋盤)



この機械は、日本最初の工作機械メーカーである池貝工場(現池貝)の創業者池貝庄太郎と弟喜四郎が1889年に自社の工場設備機械として製作した英式9寸旋盤である。
同工場には英式12寸と6寸の2台の旋盤があっただけといわれており、乏しい機材の中で、マザーマシン国産化への道を開いた池貝兄弟の技術水準の高さをうかがわせる、わが国の機械工業史における記念碑的な工作機械である。

【静岡県沼津市】
卓上複写機リコピー101



リコピー101は、理研光学工業(現リコー)が1955年に発売した国内初の露光・現像一体の卓上型シアノ湿式複写機である。同時期に開発されたシアノ感光紙により、現像後の水洗いが不要となり、無水・無臭の露光・現像を実現した画期的事務用機械であった。リコピー101は、卓上型で操作も簡単であったため急速に普及し、発売後10年間の生産台数は後継機を含め100万台を超え、事務作業の合理化・機械化(OA化)の先駆けとなった。

【福岡県北九州市】
ウォシュレットG(温水洗浄便座)



ウォシュレットGは、東陶機器(現TOTO)が開発し、1980年に販売を開始した初代温水洗浄便座である。もともと日本人にはおしりを水で洗うという習慣はなかったが、同社は温水洗浄便座の一般家庭への普及を確信して1978年に開発を開始し、数々の困難を乗り越えて販売にこぎつけた。現在の世帯普及率は70%を超え、日本人の生活様式やトイレの設備環境を一変させた。現在では「ウォシュレット」は温水洗浄便座の代名詞にもなっている。

「機械の日・機械週間」記念行事

8月7日、日本学士院講堂にて「機械遺産」認定表彰の他、記念講演・パネルディスカッションが実施される。入場無料。詳細は機械の日ホームページ <http://kikainohi.jisme.or.jp/>まで。

■記念講演(14:30~16:00)

- 1) 第一 氏(公益財団法人地球環境産業技術研究機構 理事) 「3E+5基準によるエネルギー総合評価」
- 2) 柏木 孝夫 氏(東京工業大学特命教授) 「いま起りつつあるエネルギー革命とは」

■パネルディスカッション(16:00~17:15)

「東日本大震災をふまえたエネルギーの現状と今後の展望」
パネリスト 記念講演者の第一 柏木氏に加えて
小泉 安郎 氏(信州大学教授)
中垣 隆雄 氏(早稲田大学准教授)

企画・制作—
日本経済新聞社クロスメディア営業局



「ものづくり」の極め手。

タンガロイが目指したものは、全てのお客様に満足していただける工具づくりと、確かな素材づくりです。当社は、80年前日本で初めて超硬合金の開発・商品化に成功し、それがタンガロイ「ものづくり」の原点となりました。今、タンガロイは更なる「ものづくり」の極め手として全速、全力でお客様に満足される企業を目指しています。



TURNLINE



MILLLINE



DRILLLINE



TOOLLINE

株式会社タンガロイ

本社 〒970-1144 福島県いわき市好間工業団地11-1
TEL: 0246-36-8501 FAX: 0246-36-8542 www.tungaloy.co.jp